

事務事業名		防災センター整備事業		☒ 実施計画登載事業		☒ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	03 やすらぎある安全なまちづくりの推進		事業期間		予算科目				
	施策名	07 防災対策の推進				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	02 地域防災体制の強化				01	09	01	05	07
根拠法令										
所属	部課名	防災センター建設推進室		☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始 昭和27 年度～) ☒ 期間限定複数年度 【計画期間】 24 年度～ 28 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入						
	課長名	大久保 守 正								
	係 名	防災センター建設推進室	電話		27-3589					
	担当者	荻野 渉	内線		433					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)				
地震・津波・風水害等の様々な災害発生時における災害対策活動の拠点としての機能を有し、平常時には地域住民や消防団等に対する防災PR、教育訓練等のコミュニティ活動の場となる施設として防災センターを整備する。 ・H24年度 用地決定 H25年度 基本設計、測量調査 H26年度 用地取得、実施設計、造成工事 H27年度 造成工事、建設工事、通信設備工事 H28年度 建設工事、通信設備工事 運用開始						総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金		
								都道府県支出金		
								地方債	2,362,000	
								その他		
								一般財源	80,440	
								事業費計 (A)	2,442,440	
人件費	正規職員従事人数	16								
	延べ業務時間	8,640								
	人件費計 (B)	34,560								
	トータルコスト(A)+(B)	2,477,000								

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)
前年度実績(前年度に行った主な活動)		名称 単位
造成工事、建設工事、通信設備工事		ア 防災センター建設 棟
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ
建設工事、通信設備工事		ウ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民の生命・身体・財産		名称 単位
		カ 市民 人
		キ
		ク
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)
市民の生命・身体・財産を災害から守る		名称 単位
		サ 事業進捗率 %
		(具体的指標がないので進捗率に替える)
		シ
		ス
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		
災害時に指揮所となり、市民の安全及び生活の確保に貢献する。		

(2) 総事業費・指標等の推移			年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)
投入量	事業費	単位	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円			48,500	192,100	399,500	1,721,900
		その他	千円						
	人件費	一般財源	千円		75	79	6,632	1,168	72,486
		事業費計 (A)	千円	0	75	48,579	198,732	400,668	1,794,386
	正規職員従事人数	人			4	4	4	4	4
	延べ業務時間	時間			2,160	2,160	2,160	2,160	2,160
	人件費計 (B)	千円		0	8,640	8,640	8,640	8,640	8,640
トータルコスト(A)+(B)			千円	0	8,715	57,219	207,372	409,308	1,803,026
⑤活動指標			棟	-	1	1	1	1	1
			イ	-	-	-	-	-	-
			ウ	-	-	-	-	-	-
⑥対象指標			人	-	39,117	39,090	38,712	38,938	-
			キ	-	-	-	-	-	-
			ク	-	-	-	-	-	-
⑦成果指標			%	-	10	20	50	70	90
			シ	-	-	-	-	-	-
			ス	-	-	-	-	-	-

事務事業ID	1389	事務事業名	防災センター整備事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？			
当初、H21年から3年計画で、防災センター建設の計画としていたが、震災により建設が停止された。また、震災において全国からの応援部隊が集結したが駐車スペースも限られ活動に大きく支障を来したことに鑑み、現庁舎敷地に建設することは防災センターの機能を十分に生かせない等諸事情を考え、H24年度に現消防庁舎とは別の用地を選定した。			
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？			
財源として前計画においては合併特例債を用い建設予定であったが、震災後の復興交付金効果促進事業を用いることが可能か検討をしたが、結果、緊急防災・減災事業債を財源としている。			
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？			
平成24年2月17日、大船渡市防災センター(仮称)前建設検討委員会委員による検討会を開催する。その中で「現庁舎敷地の狭さ」「海が見えない」等々の意見が出され、「広い土地を確保し、高台に移転することが望ましい」等の建設地見直しの意見が多く出され、リアスホール西側に用地が決定する。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	災害に強いまちづくり目指すうえで、市民の安全確保が図られる。	
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
有効性 評価	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	あらゆる情報を提供する場として有効活用する。 職員にあっては災害に対応するため、日頃の訓練や新たな知識・技術習得に励み、市民の安全を図るために必要な事業である。	
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	大震災を経験した今、市民が災害に対してあらゆる情報を求めている時であり、防災担当としてそれに応えていくことは責務である。	
効率性 評価	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	東日本大震災の経験を生かし、建物の重要度係数を1.5とし、自家給油設備・部分免震を取り入れ、災害時活動に支障を来さないよう整備に努めている。	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
公平性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	火災・地震・津波等大規模災害時に被害の拡大をもたらす。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	当市には防災センターが無く、消防庁舎も老朽化しているため。	
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	災害に強いまちづくりに反する。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
公平性 評価	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	今後長期的に有効な防災センターとして活用するにあたり、建設的な意見が求められるため。	
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	市民の安全確保であるため。	

事務事業ID	1389	事務事業名	防災センター整備事業
--------	------	-------	------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																							
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 震災により、23年度着工は見送りとなったが、防災体制の強化、及び安心・安全な町をつくるため早急な整備が必要であり、継続して実施する。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							

(職 名) ※原則として施策の主管課長 (氏 名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	防災センター建設推進室	大久保 守 正
-------	-------------	---------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																							
① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由																					
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		大船渡市の防災拠点施設である防災センターを建設することは、災害に強いまちづくりを目指す上で、とても重要なものである。																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 震災により、23年度着工は見送られたが、防災体制の強化を図り、安心・安全な町をつくるためには不可欠な事業であり、引き続き事業を継続する必要がある。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
